

「日医標準レセプトソフト」

ORCA Project

システムパッケージリリース情報 【Version 5.0.0】

2018年7月3日

日本医師会ORCA管理機構

改訂内容

2017年1月31日 初版

2017年2月20日 1-1 (2)を“ログインユーザ名（オペレータ ID）の使用可能文字について”に変更

2018年7月 3日 1-1 (2) “ログインユーザ名（オペレータ ID）の使用可能文字について”に「-」（ハイフン）を追加

1 パッケージリリースについて

1-1 注意事項

(1) データベースのバックアップについて

このパッケージへアップグレードするとデータベースの変更が行われます。

アップグレードを行う前には必ずデータベースのバックアップを行い、エラーが発生していないことを確認してください。

アップグレード中にエラーが発生した場合に、アップグレード前のバックアップが正常に行われていない場合は修復不可能となります。

また、グループ診療のためデータベース変更では、システム管理に記録されている医療機関 ID (アップグレード処理日に有効なもの) と異なる医療機関 ID を持つ行を無条件に削除します。

よって、アップグレードは正常に終了しても、システム管理に想定を超えた内容の登録があった場合、すべて行削除される可能性もあります。この場合もバックアップが正常に行われていない場合は修復不可能となります。

このような状態にあっては、サポートセンターへ問い合わせをされても、サポートの対象とは認めませんので悪しからずご了承ください。

(2) ログインユーザ名 (オペレータ ID) の使用可能文字について

**日レセに接続するユーザ名に使用できる文字は、アルファベット (大文字・小文字) ・数字 (0-9) ・「_」 (アンダーバー) ・「-」 (ハイフン) (いずれも半角) としました。その他記号等は使用できませんのでご注意ください。
使用不可となった文字を含むユーザ名でログインしている場合は、システム管理者により職員情報登録画面から変更を行ってください。**

(3) dbs を使用する場合のユーザ認証方法について

**ミドルウェアによる認証 (glauth) からアプリケーションによる認証に変更しましたが、dbs の認証方法はミドルウェアによる認証 (glauth) を使用します。
dbs を使用する場合は別途パスワードファイルの設定が必要となります。**

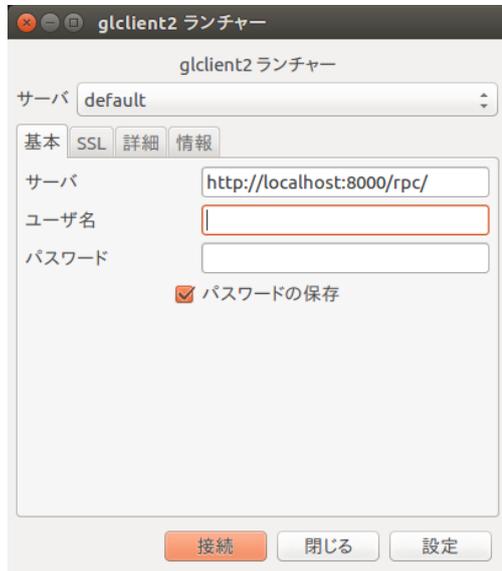
(4) 処理時間について

パッケージアップグレードによりテーブルの構造変更を行います。

変更を行うテーブル数も多いうえに対象のテーブルに格納されている行数が多い場合は、マシンの性能 (スペック) にもよりますがかなり処理時間がかかると予想されますのでバージョンアップの計画を立てて行うようにしてください。

お昼の休憩時間等にパッケージアップグレードを行うということは避けていただいた方が無難です。業務に支障をきたさない時間帯に余裕をもって行ってください。

(5) glclient2 ランチャーについて



4.8 環境から 5.0 環境へアップグレードした場合、ランチャーの設定が引き継がれませんのでご注意ください。

また、日レセへの接続先を設定するサーバ欄については、以下のように変更となりますのでご注意ください。

http://localhost:8000/rpc/

4.8 環境の設定内容確認方法

端末（ターミナルエミュレータ）から以下のコマンドを入力します。（以下同様）

```
$ gconftool-2 -R /apps/glclient
```

登録されていたユーザ名とパスワードを確認する場合は以下のコマンドを入力します。

```
$ gconftool-2 -R /apps/glclient | grep -e 'user =' -e 'password ='
```

(6) ライセンスマスタの更新について

ライセンスマスタ更新データを取得する際のユーザ認証方式を変更しました。

ORCA プロジェクトに対し医療機関 ID 申請を行い、振り出された ID を正しく登録してからアクセスキーを取得する必要があります。

アクセスキーを取得する方法は、「システムパッケージリリース情報【機能操作説明】Version5.0.0」資料の「1-1 マスタ更新」を参照してください。

1-2 日レセパッケージ

バージョン 5.0.0

対応 OS

- ・ Ubuntu 16.04 LTS(Xenial Xerus) 64bit
- ・ Ubuntu 14.04 LTS(Trusty Tahr) 64bit

1-3 クリーン・インストール

公式ホームページの「日医標準レセプトソフトのダウンロード・インストール」をご参照ください。

- (1) Ubuntu 16.04 LTS (Xenial Xerus) 版

以下のページをご参照ください。

<http://www.orca.med.or.jp/receipt/download/xenial/>

- (2) Ubuntu 14.04 LTS (Trusty Tahr) 版

以下のページをご参照ください。

<http://www.orca.med.or.jp/receipt/download/trusty/>

1-4 アップグレード・インストール

アップグレード方法について説明します。

※Ubuntu 14.04 LTS (Trusty Tahr) 版の場合を主な例とします。

- (1) データベースをバックアップします。

アップグレードの前には必ずデータベースのバックアップを行ってください。

バックアップの方法

```
$ sudo -u orca pg_dump -Fc orca > (バックアップファイル名)
```

- (2) スキーマチェックを行います。

現在のデータベースの状態をチェックします。

最新のチェックファイルによりチェック処理を行うため以下の方法により処理を行います。

```
$ wget http://ftp.orca.med.or.jp/pub/etc/jma-receipt-dbscmchk.tgz
$ tar xvzf jma-receipt-dbscmchk.tgz
$ cd jma-receipt-dbscmchk
$ sudo bash jma-receipt-dbscmchk.sh
```

処理が終了したらメッセージが表示されます。作業ディレクトリ

(jma-receipt-dbscmchk/)に jma-receipt-dbscmchk.log というファイルが作成されます。ファイルの内容を確認してください。

整合性に問題なしと出ればスキーマは問題ありません。

- (3) apt-line の追加をします。

日レセパッケージを取得するための apt-line を追加します。

[xenial の場合]

apt-line の設定ファイル(jma-receipt-xenial50.list)を公式ウェブサイトから取得し、/etc/apt/sources.list.d 以下に配置します。

[trusty の場合]

apt-line の設定ファイル(jma-receipt-trusty50.list)を公式ウェブサイトから取得し、/etc/apt/sources.list.d 以下に配置します。

```
$ sudo wget -q -O ¥  
/etc/apt/sources.list.d/jma-receipt-trusty50.list ¥  
http://ftp.orca.med.or.jp/pub/ubuntu/jma-receipt-trusty50.list
```

(4) パッケージをダウンロードします。

```
$ sudo apt-get update  
$ sudo apt-get dist-upgrade -dy
```

ダウンロード中に中断されたなどエラーが発生していないことを確認します。エラーが発生し終了した場合は再度ダウンロードを行います。

(5) アップグレードします。

```
$ sudo apt-get install jma-receipt  
$ sudo apt-get dist-upgrade
```

1-5 データベースセットアップ処理

(1) 既存のデータベースのエンコーディングが UTF-8 の場合は設定ファイルを作成します。
「 /etc/jma-receipt/db.conf 」というファイルを以下の内容で作成します。

```
DBENCODING="UTF-8"
```

注意

セットアップ処理スクリプトでは、データベースエンコーディングのデフォルトを EUC-JP とします。
既存データベースのエンコーディングが UTF-8 の場合は、設定ファイル作成は必須となります。

(2) コマンドを実行します。

```
$ sudo jma-setup
```

1-6 日レセの起動

データベースセットアップ処理が終了しても日レセは自動で起動しませんので、以下のコマンドで起動します。

```
$ sudo service jma-receipt start
```

Ubuntu 16.04 LTS(Xenial Xerus) 版の留意事項

systemdにより処理メッセージが表示されませんので、以下のコマンドで確認ができます。

```
$ journalctl -xe -u jma-receipt
```

また、パッケージインストール後、最初の起動時には起動しない場合があります。一度停止コマンドを入力してから起動コマンドを入力するか、

```
$ sudo service jma-receipt stop
```

```
$ sudo service jma-receipt start
```

又は、

```
$ sudo service jma-receipt restart
```

再起動コマンドで起動してください。

1-7 プログラム更新処理

日レセが起動したらプログラムの緊急修正情報があるか確認を行ってください。

緊急修正情報がある場合は、必ず業務メニュー画面より「プログラム更新」を行ってください。

1-8 データベーススキーマ変更の確認について

業務メニューからの「92 マスタ更新」を選択するとデータベースの構造バージョンを確認できます。

正常にアップグレード（インストール）が完了すると「構造 ver (白)」及び「構造 ver (ORCA)」の表示は次のようになります。

「S-050000-1-20170116-1」 ※平成 29 年 1 月 31 日現在

また、/var/log/jma-receipt/orca-db-install-5.0.0.log というファイルが作成されますので“ERROR”という文字が含まれていないか確認します。

```
$ grep ERROR /var/log/jma-receipt/orca-db-install-5.0.0.log
```

さらに、スキーマチェックを行います。

```
$ cd jma-receipt-dbscmchk
```

```
$ sudo bash jma-receipt-dbscmchk.sh
```

不整合が発生していないことを確認します。

1-9 マスタ更新データの提供について

パッケージをアップグレードしただけでは各種マスタは更新されません。必ず業務メニュー画面より「92 マスタ更新」を行ってください。

業務メニュー画面の「92 マスタ更新」を選択しマスタ更新管理一覧画面より「更新」ボタン(F12 キー)を選択すると更新処理を開始します。

提供されているマスタ更新データの最新情報は公式ホームページあるいは業務メニュー画面の新着情報をご確認ください。

マスタ更新処理プログラムは、/var/lib/jma-receipt/master/01/orca-mstlog/ にログを書き出します。拡張子が ERR というファイルが空(0 バイト)でない場合は、対となるファイル

名の拡張子 PRF というファイルの内容を確認します。
 (/var/lib/jma-receipt/master/01/orca-mstlog/ の 01 は医療機関識別番号です。)

2 Version4.8.0 に対する修正プログラム提供内容

Version4.8.0 システムに適用させるため提供した修正プログラムについては、すべて当該バージョンに含まれています。提供したプログラムの修正内容については、公式ホームページあるいは業務メニュー画面の新着情報をご確認ください。

3 クライアントアプリケーションについて

3-1 利用可能なクライアントアプリケーション

バージョン 5.0.0 リリース版で利用可能なクライアントは以下となります。

- ・ glclient2
panda-client2 1:2.0.0+p1 以降
- ・ monsiaj
2.0.0 版以降
(<http://ftp.orca.med.or.jp/pub/java-client2/monsiaj-bin-2.0.0.zip>)

4 データベースの変更について

4-1 新設スキーマ

ver4.8.0 ではデフォルトのスキーマ (public) のみを使用していましたが、マスタ系のテーブルを格納するスキーマ (master) を新設しました。

このスキーマに格納するテーブルは、マスタ更新対象のテーブルの中でもユーザーによりメンテナンスできないテーブルのみを移動します。

スキーマによりテーブル配置を分離しましたが、スキーマのサーチパスは設定しません。

この対応として public スキーマに今までと同様のテーブル名で view (ビュー) を作成しています。

4-2 変更テーブル一覧

印刷管理	TBL_PRTKANRI	項目追加
印刷用データ	TBL_PRTDATA	項目追加
パラメタ	TBL_PARA	項目追加
SPAデータ	TBL_SPA_TMP	項目追加

※ver5.0.0 リリース時に ver4.8.0 で変更されたテーブルは含まれていません。

4-3 新設テーブル一覧

オブジェクト	MONBLOB
バッチ処理ログ	MONBATCH_CLOG
お薬手帳管理	TBL_OKUSURI_KANRI
お薬手帳データ	TBL_OKUSURI_DATA
アクセスキー	TBL_ACCESS_KEY

※ver5.0.0 リリース時に ver4.8.0 で新設されたテーブルは含まれていません。

システムパッケージリリース情報

4-4 テーブルスキーマ変更における周辺システムとの連携について

カラムの追加やカラムのデータ型を変更しているテーブルがいくつかあります。

日レセと連携を行う周辺システムをご使用の場合は、アップグレードする前に十分に動作確認等を行ってください。

特に ODBC 経由等でデータベースへアクセスされている場合はご注意ください。